

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和6年9月27日

さわやか相談室 Tel 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 Tel 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

絶好の機会

校長 高山 俊介

神無月（10月）、今年度の折り返しです。水無月（6月）の30日は、暦年1年の折り返しとなるため「ハーフタイム・デー」と呼ばれています。スポーツ競技中のハーフタイムでは、休息とともに前半の出来を振り返り、後半にどのような戦略をとるかを確認します。1・2年生は、9月28日からの1週間を中心日として市新人体育大会が開催されますので、試合中ハーフタイム的な機会と先輩から受け取ったバトンを有効につかって自分・相手に挑んでください。その先輩たちは、進路選択の佳境に入っていきますので、夏季休業中からの進路に関する自己の取組を振り返り、今後に向け、すべきことをしっかりと確認してほしいと思います。

さて、2学期は新生徒会が発足され、1学期から合唱祭や市駅伝競走大会に向けての練習の日々も続いています。特に、合唱祭は、体育祭の1学期実施により、例年に比べてじっくりと取り組むことができます。各学級の合唱祭実行委員、音楽係などを中心に試行錯誤を重ねている皆さんに、「山本有三氏：編『心に太陽を持て』」（改定版）を届けます。

心に太陽を持て。
あらしが ふうと、ふぶきがこようと、天には黒くも、地には争いが絶えなかりと、いつも、心に太陽を持て。
くちびるに歌を持て、軽く、ほがらかに。
自分のつとめ、自分のくらしに、よしや苦勞が絶えなかりと、いつも、くちびるに歌を持て。
苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。
「勇気を失うな。くちびるに歌を持て。心に太陽を持て。」

「パリのオリ・パラ」の放送で使用された民放のスポーツ2024テーマ曲、「ジャンヌ・ダルクによろしく」（サザンオールスターズ）には、“歌は平和を奏でる武器だ！”という歌詞があります。また、オリンピック大会中、ビーチバレーボール女子の決勝戦では、激戦のあまり選手同士がネット越しに口論、不穏な空気に包まれました。その時に試合の盛り上げ役であるDJが著名なシンガーソングライターであるジョンレノン氏の楽曲「イマジン」をBGMに流すと、多くの観客が歌いだし、険しい顔つきだった選手同士が柔和な表情になった場面がありました。

十人十色、それぞれの個性を大事にしている中、曲の構成や曲想の変化を生かすための表現を追求し、合唱を完成させるのはとても難しいことです。ただ今後の人生において、これだけの多くの個性で曲にふさわしい音楽表現を追求したり、鑑賞しあったりする機会はないかもしれません。ぜひ、この中学生期に音楽のもつ力を授業等だけでなく、この行事でも理解し、体験してほしいと考えています。

色々な秋が真っ盛りで忙しい日々となります。その日々をたくさんの方に挑戦でき、自分を高め、互いに磨き合える絶好の機会にしていくことを期待しています。

今月の29日は開校記念日です。

歴史を紐解くと、昭和57年4月1日に白幡中、南浦和中学校から分離独立して開校した同年の10月29日に校舎及び体育館の落成式が挙行され、その日が記念日として定められました。

